

【事業概要】

現在の阪神なんば線淀川桥梁は、河川内に39本と多くの橋脚があり、桁下高が低いため、洪水の流れを阻害し、大規模な洪水が発生した際には、桥梁の堰上げにより、上流で堤防が決壊する恐れがあります。また、桥梁部分は堤防を切り込む形になっており、高潮時には陸閘を閉鎖することで浸水被害を回避している状況です。

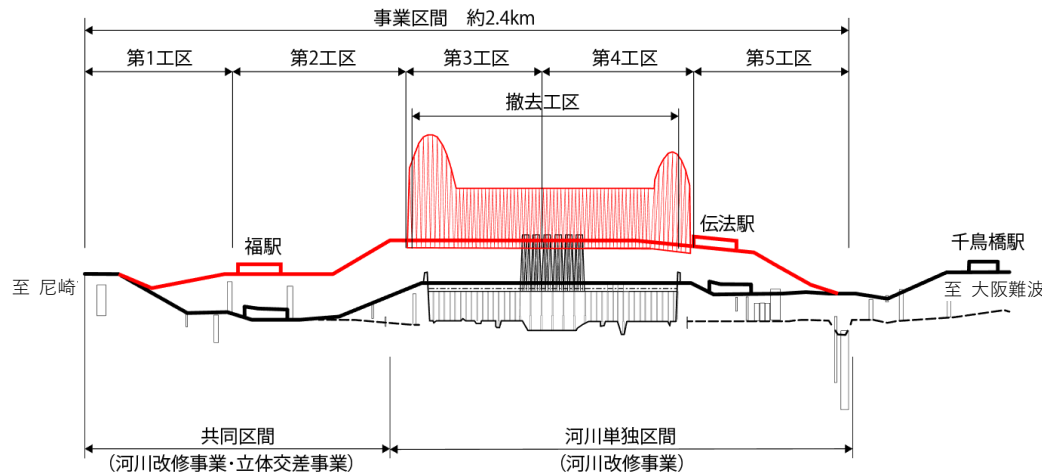
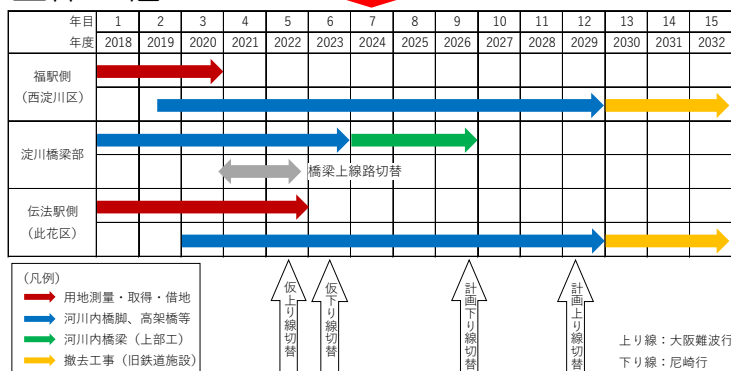
桥梁の改築により、橋脚数を減らし、桁下高を上げることで、洪水を安全に流下させるとともに、陸閘をなくす事で高潮時の安全性を確保する事が出来ます。

各工区の工事 2024年度の主な作業内容(予定)

- 1工区 淀川北岸線付近から福駅西踏切まで
場所打ち杭工、躯体構築工、現在施設撤去工
- 2工区 福駅西踏切から淀川右岸まで
場所打ち杭工、躯体構築工、現在施設撤去工
- 3工区 淀川右岸から河川中心まで
上部工架設準備工、上部工架設工
- 4工区 河川中心から淀川左岸まで
上部工架設準備工、上部工架設工
- 5工区 淀川左岸から正蓮寺川まで
場所打ち杭工、躯体構築工、現在施設撤去工



全体工程



全体位置図



【 2024.5～2024.7までの工事】

①擁壁撤去工



②支障物撤去工



【 2024.5～2024.7までの工事】

①場所打ち杭工



②鋼矢板打設工



③保安柵設置工



【 2024.5～2024.7までの工事】

① 上部工架設準備工



② 河川内状況



③ 河川内状況



【 2024.5～2024.7までの工事】

① 河川内状況



②河川内状況



③上部工架設準備工



【 2024.5～2024.7までの工事】

①場所打ち杭工



②障害物撤去工



③仮土留め工

